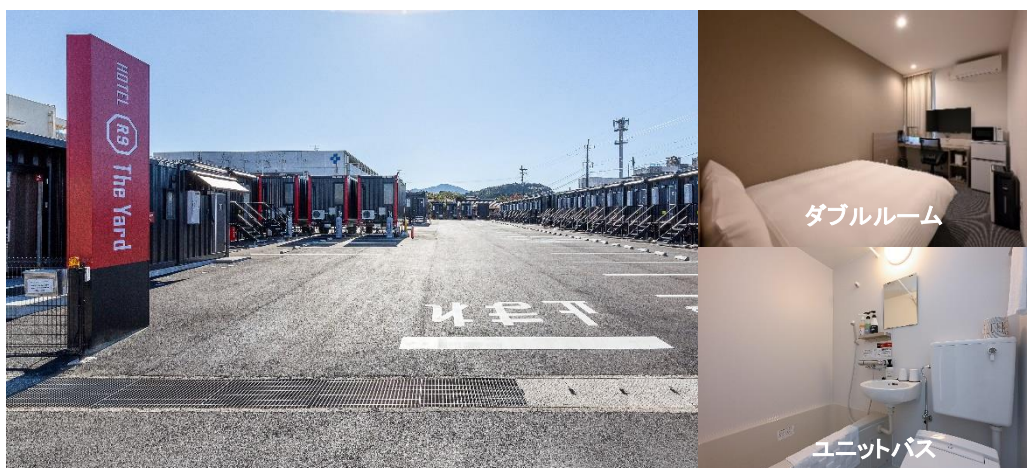


宮崎県えびの市にコンテナホテル「HOTEL R9 The Yard えびの」が 2025年2月14日(金)開業予定！同市と企業立地協定および災害協定を締結

～締結式終了後、えびの市、報道関係者向けのオープン前施設見学会を開催～

株式会社デベロップ(本社:千葉県市川市、代表取締役:岡村 健史、以下「デベロップ」)は、宮崎県えびの市にコンテナホテル「HOTEL R9 The Yard えびの」を2025年2月14日(金)に開業予定です。当ホテルの開業により「ホテル アールナイン ザ ヤード」シリーズは97店舗、「R9 HOTELS GROUP」としては108店舗となります。また開業に先立ち、2025年1月27日(月)に、えびの市へのホテル進出およびレスキューホテルの出動に関し、同市と企業立地協定および災害協定を締結します。締結式終了後は、「HOTEL R9 The Yard えびの」にてオープン前施設見学会を開催します。



HOTEL R9 The Yard えびの 外観

【HOTEL R9 The Yard えびの 施設情報】

施設名:	HOTEL R9 The Yard えびの (ホテル アールナイン ザ ヤード エビノ)
施設場所:	宮崎県えびの市向江522-3
オープン日:	2025年2月14日(金) 予定
予約受付開始日:	2025年2月7日(金) 15:00 予定
アクセス:	【お車】九州縦貫自動車道「えびのIC」より車で約6分 【電車】JR吉都線「京町温泉駅」より徒歩で約7分
駐車場:	普通車/軽自動車56台(無料)
敷地面積:	3,559㎡(1,076坪)
客室数:	50室
客室構成:	ダブルルーム44室/ツインルーム6室
<ダブルルーム>	定員:2名 広さ:13㎡ 1名 6,200円/泊～ 2名 8,700円/泊～
<ツインルーム>	定員:2名 広さ:13㎡ 1名 6,200円/泊～ 2名 9,700円/泊～
ホームページ:	https://hotel-r9.jp/hotels/ebino/

【企業立地協定および災害協定締結式について】

日時:	2025年1月27日(月)11時00分
場所:	えびの市役所 3階 市長応接室(えびの市大字栗下1292番地)
出席者:	村岡 隆明 えびの市長、株式会社デベロップ 取締役副社長 菅原 淳、他

【オープン前施設見学会について】

日時:	2025年1月27日(月)12時00分～12時30分
場所:	HOTEL R9 The Yard えびの(えびの市向江522-3)※市役所から車で約8分
施設見学対象者:	報道関係者
申込方法:	事前申込制(電話 047-712-5112)

【ホテル概要および宮崎県えびの市との企業立地協定・災害協定締結について】

宮崎県で新たにオープンする「HOTEL R9 The Yard えびの」は、九州縦貫自動車道「えびのIC」より車で約6分の国道268号沿いに所在します。ホテルの5km圏内には「えびのインター産業団地」をはじめ、企業集積地が点在しており、出張などビジネス利用に最適です。徒歩圏内にはスーパーマーケットや飲食店、温泉施設があり、滞在中は便利で快適な時間をお過ごしいただけます。また、「グリーンパークえびの」や「えびの高原」、「生駒高原」などへのアクセスも良好なため、当ホテルを拠点に観光やレジャーも楽しみいただけます。

デベロップでは、防災機能を担うホテルとしての特性を生かし、災害に強いまちづくりに寄与するため、自治体との連携強化を図ることを目的とした災害協定の締結を推進しています。今回のえびの市との締結により、災害など有事の際には「レスキューホテル」として客室をえびの市へ提供することが可能となります。また、ホテルの出店を通じ、地域の経済発展や雇用拡大への貢献を目指しており、本協定を機に、同市と連携しながら、地域に根差したホテル運営に努めます。

【災害時には避難所等になるフェーズフリーのホテルで備えない防災を】

デベロップが運営する「HOTEL R9 The Yard(ホテル アールナイン ザ ヤード)」シリーズは、斬新な外観と上質な空間を持ち合わせたコンテナホテルです。建築用コンテナモジュールを利用した独立客室は、隣室と壁を接しないため静粛性とプライバシー性に優れます。13㎡の室内には、良質なベッド、ゆったり使用できるユニットバス、冷凍冷蔵庫、電子レンジ、加湿空気清浄機を備えており、シンプルながら高い快適性を実現。多くのお客様の好評を得て、全国97店舗3,555室(えびの店をはじめ開業準備中の店舗を含む)を展開しています。また、有事の際には客室をすみやかに被災地へ移設し避難施設等にご利用いただく「レスキューホテル」としての役割を担うことで、災害に強い社会をつくり、未来の命や暮らしを守ることを目指します。尚「動くホテル」「レスキューホテル」との語および、それらの関連標章※は、各々、末尾のとおり、商標登録をしております。

ホテル アールナイン ザ ヤード シリーズ ブランドページ: <https://hotel-r9.jp/brands/theyard/>

レスキューホテル ウェブサイト: https://www.dvlp.jp/lp/rescue_hotel

【東日本大震災の経験をもとに実現／レスキューホテル誕生の経緯】

2011年の東日本大震災では、コンテナ型備蓄倉庫の寄贈や復興従事者用の仮設宿泊施設の建設などの為、震災後間もなく現地に入りました。被災地の方が多くの避難所で生活に大きな負担を強いられている状況を目の当たりにし、発災後に安心安全なプライベート空間を迅速かつ簡便に提供したいという想いで誕生したものがレスキューホテルです。

動くホテルの1例目として、宮城県石巻市で復興従事者用宿泊施設として利用されたコンテナを栃木県佐野市に移設し2017年10月「HOTEL R9 SANOFUJIOKA」としてリニューアルオープン。その後、更なる移設性を高めるべく1台1客室型に改良、2018年12月に、動くホテルの1例目として、「HOTEL R9 The Yard(ホテル アールナイン ザ ヤード)」シリーズ1号店が栃木県真岡市にオープンしたことを皮切りに本シリーズを全国各地へ展開。全国どこへでもすみやかにレスキューホテルが駆けつける体制づくりを目指します。

【レスキューホテル出動実績】

2020年4月に長崎クルーズ船内における新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてレスキューホテル初の有事出動を行いました。その後、東京都三鷹市および東京都千代田区、都内民間病院へPCR検査体制強化のために出動。空調を完備した客室は、季節や天候等に関係なく診療活動を行うことができ、医療従事者の負担軽減のために利用されました。

2021年12月に栃木県へ新型コロナウイルス第6波およびオミクロン株の感染拡大対応のために臨時医療施設として126室を出動。さらに2月より、千葉県と東京都の臨時医療施設の付帯施設として計21室が利用されました。レスキューホテルは、1台1客室の独立した客室構造により、宿泊施設としてだけでなく診察室やナースステーション等にも活用可能なことから、自治体や民間の病院の有事インフラとして地域医療に貢献する機会が増えています。

■レスキューホテルは「日常時」と「非常時」のどちらにおいても役に立つ商品として「フェーズフリー認証」を取得しています。

■災害時の備えを全国へ展開し、強靱なまちづくりに貢献～SDGsの取り組み～

レスキューホテルは、「SDGs事業認定」を取得しています。災害時の備えとして自治体との協定締結の輪を広げ、各自治体のBCP(事業継続計画)に寄与し、持続可能な開発目標の達成に貢献します。

【運営会社】

会社名: 株式会社デベロップ
代表者: 代表取締役 岡村健史
所在地: 千葉県市川市市川一丁目4番10号
設立: 2007年2月
事業内容: 建築・不動産事業、エネルギー事業、ホテル事業、施設管理事業、資産運用代行事業
ホームページ: <https://develop-group.jp>



※「レスキューホテル The Yard(商標 第6240114号)」、「災害支援型レスキューホテル(商標 第6394774号)」、「医療従事者支援型レスキューホテル(商標 第6394775号)」その他「レスキューホテル」の語を用いた商標、並びに「動くホテル The Yard(商標 第6240108号)」その他「動くホテル」を用いた商標は、デベロップの登録商標です。

【本リリースに関するお問い合わせ】 株式会社デベロップ 広報担当 Tel: 047-712-5112 Email: pr@dvlp.jp